

平成 27 年度 講座「別子銅山を読む」
第 5 回 平成 28 年 2 月 20 日 (土曜日)
「口屋 現在・過去・未来」
口屋跡記念公民館前館長 平野 繁市

1. 発行の経緯

口屋跡記念公民館設立 40 周年記念事業として、記念誌の発行を決議
(昭和 45 年設立 平成 22 年 40 周年)

2. 準備委員会

宮西校区まちづくり推進委員会、口屋跡記念公民館運営審議委員会、宮西校区
連合自治会

3. 編集委員会

宮西校区連合自治会、単位自治会から編集委員 2 名の選出 14 名

編集委員長 泉池町 加藤明男氏を選出

定例会 毎月 1 回 23 年 1 月からは週 1 回

初回 平成 22 年 7 月

4. 編集方針 ～目で見えて理解できる冊子に～

1. 口屋の歴史を次代に残す。(歴史はあるが資料が残っていない)

2. 文字で表すより写真で表す

3 この口屋を中心に、この地区の文化、生活を主に取り入れる。

(住民から見た日常生活)

4. 子供たちの(小学 6 年生)の未来へのメッセージを書いてもらう。

5. 内 容

・ 口屋誕生前夜と別子銅山

(別子銅山、住友各企業の資料、文献等数多くあり、可能な限り重複を避けた
いが、口屋を語る時別子銅山を省くことはできない。)

・ 資料で見る口屋の歴史

・ トピックス 開坑・運搬路の変遷

・ 口屋今昔① 建物、行事、生活

・ 口屋周辺の港の移り変わり

・ トピックス 新居浜口屋沖埋立地てん末 現図書館長 横井邦明氏執筆(現図
書館長)

・ 口屋の信仰

・ 特集 日和佐初太郎氏の昭和の風景

- ・口屋の学び舎周辺 宮西小学校 北中学校 西高等学校、保育園・幼稚園
- ・口屋今昔② 本町通り、昭和通り、登り道 商店、行事、娯楽
- ・新居浜市における道路の変遷
- ・トピックス 新居浜口屋銅物語(平成2年別子銅山開坑300年記念行事)
- ・口屋跡記念公民館事業
- ・郷土の祭り 港まつり 春は子ども天国(春祭り) 夏祭り、新居浜太鼓祭り
地域内太鼓台4台
- ・口屋から未来へ 宮西小学校平成23年度卒業生の皆さん
- ・口屋のあゆみ
- ・口屋の発展に貢献した人々 鷲尾勘解治 白石誉二郎 内田東水 黒川 晋
口屋案内図
- ・資 料

6.この記念誌の活用

- 1.町の生い立ちを知り、未来のまちづくり
- 2.山の物語は多いが海と山の出入り口であった口屋の資料はあまりない、この本の発行を契機として継続的に資料の収集ができ、発表(発掘)されるのを期待する。 ※平成25年度小学生 副読本「写真で見るわたしたちの口屋」
平成26年度中学生用 副読本「口屋の周辺」の発行

1.未発表資料

人口異動状況 1670年～2010年
 藩政時代の新居浜浦の状況
 市町村制実施当時の新居浜の状況(明治22年)
 市制施行当時の新居浜の状況(昭和12年)
 新居浜市域の変遷 (昭和12年、昭和28年、昭和30年、昭和34年、平成15年)
 宮西校区の町名ごとの特色(昭和55年頃 1970)
 農業(新居浜町時代の状況)
 漁業(歴史)

2.発行後の資料・写真

慈明(慈名)寺 西明寺 慶正寺の関係 (一宮神社の水盤)
 芸備銀行跡(現マナベ小児科) 小女郎狸像と垂水味好堂 西原町の遍路墓
 小動物園猿舎写真 新居浜小学校保存資料

3.発行後の変わり方(変わりゆく光景)

自彊舎(菊本) 新居浜西高家政科跡地 谷口邸

4.日和佐初太郎氏撮影の場所 新旧比較

5.その他 奉公袋と中身 ハタダ(飴) 昭和通り 銀泉街

口屋跡由来記

口屋の由来は 元録四年（一六九一）住友家が別子銅山を開坑し 当初粗銅を土居町天満から大阪へ運んでいたが 元録十五年（一七〇二）銅山越を経て 立川路を新設し 新居浜浦に口屋を設けたことに始まる

口屋は 別子銅山から運んで来た粗銅を 船で大阪へ運んだり 銅山で働く人やその家族の食糧や日用品その他の資材の搬入 往復する船や仲持 牛馬の発着事務を扱い 明治二十二年（一八八九）惣開に分店が移転するまでの一八八年間 別子銅山の重要な拠点として 大きな役割を果たしてきた

その後 口屋跡は 小学校 町役場 市役所 図書館 公民館へと移り今日に至る 昭和二十四年（一九四九）に史跡として 愛媛県の指定を受け 往時の新居浜の 産業 経済 政治 文化を知る老松が静かに生きつづけている

新居浜市教育委員会

■ 人口の異動状況
(新居浜「浦」「村」「町」「市」)

元 号	西 暦	家 数	人 数	
寛文 6	1670	256	1,523	新居浜浦
宝暦14	1764	531	2,242	新居浜浦
天保13	1842	605	2,988	新居浜浦
明治 3	1870	647	3,526	新居浜浦
明治 5	1872	734	3,550	新居浜浦
明治21	1888	1,018	4,290	新居浜浦→新居浜村
明治41	1908	1,374	6,877	新居浜村→新居浜町
大正 9	1920	1,570	7,329	第1回国勢調査
昭和 5	1930	1,989	9,682	第3回国勢調査
昭和12 (合併3町村)	1937 (計)	3,310 (6,740)	15,773 (32,254)	旧新居浜町 (新居浜町・金子村・高津村)
昭和49	1974	4,022	11,567	旧新居浜町の範囲 (宮西校区・若水町・港町)
昭和55	1980	3,566	9,931	旧新居浜町の範囲
平成22	2010	3,651	7,479	旧新居浜町の範囲

■ 町丁別男女別人口と世帯数
住民基本台帳人口
● 昭和55年7月1日現在

町 丁 名	世 帯 数	人 口	男	女
港 町	709	2,118	998	1,120
若水町1丁目	216	573	267	306
" 2丁目	253	690	323	367
徳常町	228	613	298	315
繁本町	105	303	144	159
宮西町	143	396	188	208
泉宮町	343	936	440	496
泉池町	373	996	464	532
西 町	245	681	316	365
中須賀町1丁目	222	634	297	337
" 2丁目	350	949	450	499
西原町1丁目	126	372	175	197
" 2丁目	145	388	190	198
" 3丁目	108	282	132	150
(計)	(3,566)	(9,931)		

● 平成22年12月末日現在

町 丁 名	世 帯 数	人 口	男	女
港 町	538	1,151	549	602
若水町1丁目	242	487	221	266
" 2丁目	284	564	268	296
徳常町	362	641	318	323
繁本町	165	385	182	203
宮西町	119	246	124	122
泉宮町	452	930	440	490
泉池町	277	517	231	286
西 町	181	339	165	174
中須賀町1丁目	452	1,034	505	529
" 2丁目	219	436	205	231
西原町1丁目	107	219	101	118
" 2丁目	188	402	179	223
" 3丁目	65	128	58	70
(計)	(3,651)	(7,479)		